

教育目標

豊かな心と自ら学ぶ力を育み、心身ともに健康な子どもを育成する

(1) めざす児童像 — 心と体と知恵を育てる。 —

○思いやる子
道徳性の育成（徳育）

やさしく思いやりのある
 人間関係力を育てる

○元気な子
たくましい心身の育成（体育）

基本的な生活習慣を基盤にした活動

○考える子
確かな学力の定着（知育）

自ら考え、工夫し表現する
 力を育てる

自らつくり出す実感のあるくらしと学習

「なりたい自分」への意欲を持ち、身近な課題からしっかり向き合い、判断と成果を生かし、自分ごととして実感のあるくらしや学習を積み重ねる。

(2) 重点課題

- 1 共に生きる心を育てる人権教育を推進する。
 - ◇ あいさつ運動をはじめ、基盤となる基本的な生活習慣の定着
 - ◇ 思いを出し合い人間関係を深める集団づくりの推進
 - ◇ 受容的共感的な児童理解による生徒指導の徹底
 - ◇ 全教職員の共通理解による、総合的な人権教育の推進
 - ◇ よく知ろうとする意欲を高め、差別や偏見に気づき解消する実践力の育成 ・ いじめの未然防止と早期発見
 - ◇ 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の充実
- 2 体力を増進するとともに、たくましい心を育成する。
 - ◇ 適切な保健・安全指導による健康増進と病気・けがの防止
 - ◇ 毎日のサーキットや芝生活用による体力の増進
 - ◇ 食育年間指導計画に基づいた食育の推進
- 3 基礎基本を定着させ、思考力、判断力、表現力を育成する。
 - ◇ 学習規律を大切にし、一人一人の実態に応じた指導の徹底
 - ◇ 基礎基本の定着とともに「分かる・楽しい授業」づくりによる自尊感情の育成
 - ◇ 表現力を育成する、伝え合う場の設定
 - ◇ 「自ら本を手に取り読書する子」(読書習慣)の育成
 - ◇ 主体性ある農業体験学習や地域教材学習の充実
 - ◇ キャリア教育の視点を明確した取組の系統化
- 4 地域に開かれた信頼される学校、特色ある学校づくりを推進する。
 - ◇ 体験型環境学習、農業体験等、地域と連携した多様な体験学習の重視
 - ◇ 保護者個々との情報交換の重視。たより等よる積極的な情報提供
 - ◇ 目的意識を持った各種研修等による教職員の資質向上
 - ◇ 矢野川保育所、矢野川幼稚園、若狭野小学校、矢野川中学校 との連携・一貫教育の推進

対応する評価項目
 内部 保護者
 評価 アンケート

①	①②
②	③
③	
④	
⑤	③
⑥	④
⑦	⑤
⑧	⑥
⑨	⑦
⑩	⑧
⑩	⑨
⑪	⑩
⑫	⑪
⑬	
⑭	⑫
⑮	⑬
⑯	⑭⑮
⑰	
⑱	⑯
⑲⑳	⑰

上記以外の評価項目 ICT 機器の活用 教育環境等